プロジェクトマネジメントをサポートするWEBアプリケーションに

関する研究

プロジェクトマネジメントコース　矢吹研究室　0842062　工藤　亮

1. 研究背景

プロジェクトマネジメントのガイドであるPMBOKによれば，プロジェクトマネジメントとは，プロジェクトの要求事項を満足させるために，知識，スキル，ツールと技法をプロジェクト活動へ適用することである．プロジェクトマネジメントは5つのプロセス群を論理的に42に分類したプロジェクトマネジメント・プロセスをプロジェクトに適切に適用し，統合することによって遂行される．そのためには，プロジェクトを計画通りに遂行させる適切な形でのプロジェクトの作業の監視とコントロールが必要である．

プロジェクトの進捗状況の管理と，進捗状況に適合したコントロールをするためのツールの1つとしてEVM(Earned Value Management)がある．EVMでは，作業を出来高(Earned Value)という尺度で管理することにより，プロジェクトの進捗状況や進捗に係わるリスクを把握し，的確な対応を行うことが可能となると思われる．

プロジェクトマネジメントの知識エリアでは，EVMはタイム・マネジメントの領域にとして位置付けられるが，他にもコスト・マネジメントとの関係が強いと思われる．また，EVMには，スコープ，スケジュール，コストなどプロジェクト計画を元に設定し，その計画を元に基礎としてプロジェクトの状況を監視し，分析・評価することから，EVMは，プロジェクトマネジメントの基本原則な位置づけを持ち合わせていると思われる．

以上のことから，EVMはプロジェクトで使用されており，プロジェクトマネジメントにおいても使用されている．

そこで，プロジェクトマネジメントの作業項目の監視とコントロールに使用されるEVMをWEBアプリケーションによって，自動化することにより，作業を効率化することで，プロジェクトマネジメントをサポートすることができると思われる．

そして，導入するWEBアプリケーションのGitHubの機能には，EVMに必要な進捗管理機能があり，EVMに必要なデータを加えることにより，GitHubの機能を利用したEVMが表示することで効率化ができる．よって，作業の遅延などのリスク・マネジメントやスケジュール管理などのタイム・マネジメントに貢献することができると考える．

1. 研究目的

本研究の目的は，GitHubの進捗状況確認機能にEVMに必要なデータを入力する機能を加えることで，目標値を表示することができ，表示された数値からEVMを自動的に作成することができる．そして，プロジェクトマネージャーが指示や確認をすることなく，プロジェクトメンバー自らが自分の置かれている状況を理解することで作業の遅延やスケジュールの訂正などを改善できると思われる．

1. 研究方法

以下の(1)～(4)の方法を記す．

(1)GitHubについて調査

(2)GitHubにEVMの目標値表示機能を導入

(3)仮想プロジェクトでシュミレーション

(4)考察

1. 成果物のイメージ

　GitHub上でプロジェクトの進捗管理を行い，進捗状況からEVMを自動的に表示することを提案する．

1. 進捗状況

GitHubにEVMの目標値表示機能の導入方法を調査している．

1. 今後の計画

　10月に目標値表示機能の導入を行い，11月にシミュレーションを行う．

参考文献

[1]PMI：「PMBOK Guide 第4版」，PMI，pp．5-6，2008．

[2]情報処理振興事業協会，EVM活用型プロジェクト・マネジメント導入ガイドライン，市場評価基盤構築事業，pp．2-3，2002．

ソフトウェア開発はバージョン管理システムを用いて行われるのが一般的

バージョン管理システムを提供するサービス（以下、バージョン管理サービス）も数多くある

ソフトウェア開発プロジェクトの中心にバージョン管理システムをおくこともできるだろう

そのような開発体制においては、PMBOKで提示されているようなマネジメントの活動がバージョン管理サービスでサポートされることが望ましい。

プロジェクトマネジメントにおいてはEVMが・・・というわけで重要だと言われているが、既存のバージョン管理サービス上でEVMを見ることはできない。そのため、バージョン管理システムを用いるPMは、・・・から進捗データを取り出して別に処理することによってEVMを描かなければならない。

そこで、・・・というシステムを開発する。このシステムによって・・・になる。

開発するシステムは、GitHubからプロジェクトの進捗データを取り出すサブシステムと、それを用いてEVMを描画するサブシステムとかならなる。

現状

APIについての調査が終わっている。

具体的な方法が決まっている。

具体的な方法

・Issueに・・・を書いておく

・APIでIssueを取得する

・IssueからEVMに必要なデータを抽出する

・抽出されたデータをもとにEVMを描画する

Issueとは（概要では簡単に）

今後の展望

上に書いた具体的な方法を実現する。